中小企業診断士試験

出る順診断士令和5年1次本試験解説

運営管理

LEC東京リーガルマインド

0 001412 240121

NL24012

ＦＯＣＵＳテキスト購入者特典（運営管理）

令和５年度１次試験総括

◆科目合格率は 8.7%

令和５年度の本試験は中小企業診断協会が発表する統計資料によると、科目合格率が 8.7%と全科目の中で最も低い数値であった。

なお、不備のある問題が２問あり、受験者全員が正答となったうえで科目合格率が 8.7%であり、難度は高かったといえる。

◆全体の平均点は 54 点

ＬＥＣ解答リサーチによれば全体の平均点は 54 点であり、直近５年の推移と比較しても低い水準である。ただし、60 点以上の受験者の平均点が 68 点、60 点未満の受験者の平均点が 42 点と二極化しており、運営管理を得点源にできた受験生も一定数存在する。

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	**R4 年度**	**R5 年度**
科目合格率（協会公表）	22.8%	9.4%	18.5%	**16.1%**	**8.7%**
平均点（LEC 解答リサーチ）	56	61	62	**59**	**54**

一部対応の難しい問題も散見されたが FOCUS テキストの内容を理解し、合格点を確保したい内容であった。

◆正答率別の設問及び得点

ＬＥＣ解答リサーチより、直近３年の正答率別の設問及び得点は以下の通りである。

令和３年度ではＡランク、Ｂランク問題が 73 点を占めており、他の科目をカバーできる水準で得点源としたい内容であった。

令和４年度ではＡランク、Ｂランク問題が 65 点を占めており、科目合格するためには、Ａランク、Ｂランクを確実に正答する安定感が求められた。

令和５年度ではＡランクが 42 点と他の年度と比較して少ない。Ａランク、Ｂランク問題が 62 点を占めており、Ｂランク問題の対応で実力差が出た。

複製・頒布を禁じます

・令和３年度試験

正答率	設問数	得点
Aランク（正答率60%以上）	25問	55点
Bランク（正答率50~59%）	7問	18点
Cランク（正答率49%以下）	12問	27点

正答率50%以上の設問は73点であった（知識が定着していれば得点源にできる）

・令和４年度試験

正答率	設問数	得点
Aランク（正答率60%以上）	27問	59点
Bランク（正答率50~59%）	3問	6点
Cランク（正答率49%以下）	14問	35点

正答率60%以上の設問が59点を占め、基本知識があれば十分科目合格できる

・令和５年度試験

正答率	設問数	得点
Aランク（正答率60%以上）	19問	42点
Bランク（正答率50~59%）	9問	20点
Cランク（正答率49%以下）	16問	38点

正答率50%以上の設問は62点であった（Bランクの対応で実力差が出る内容であった）

勝負を分けた設問

◆Ｂ・Ｃランク問題への対応

実際にＢ・Ｃランク問題はどのような問題であったのか。おそらく、基本的な対策だけでは対応が難しいのではと考えられると思う。

だが、その多くはFOCUSテキストでカバーしている基本論点であり、FOCUSテキストの内容を正しく暗記できていれば、問題なく選択肢を絞り込める内容である。

ここでは、そのＢ・Ｃランク問題の一部について紹介したい。

第１問

生産活動における評価指標の算出に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　単位時間当たりに処理される仕事量を測る尺度として、歩留りを求めた。
b　生産可能量に対する実際生産量の比率として、操業度を求めた。
c　産出量に対する投入量の比率として、生産性を求めた。

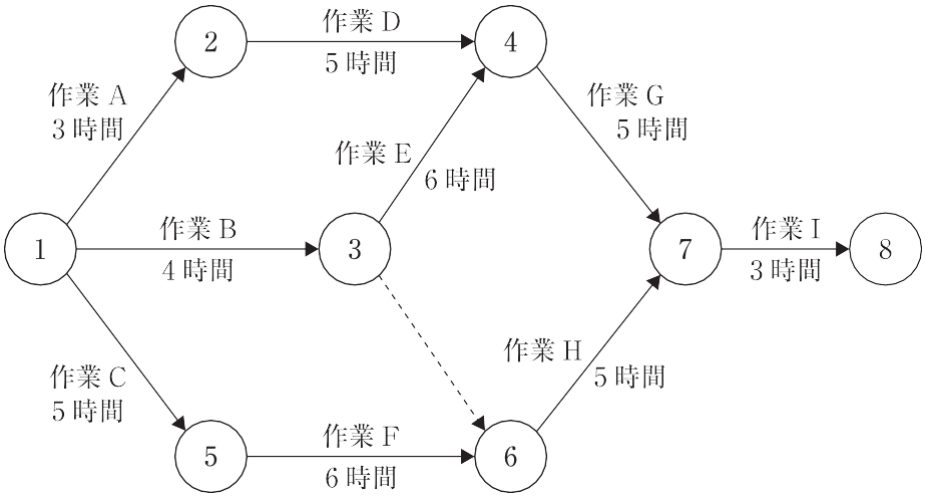
〔解答群〕

ア	a：正	b：正	c：誤
イ	a：正	b：誤	c：正
ウ	a：誤	b：正	c：正
エ	a：誤	b：正	c：誤
オ	a：誤	b：誤	c：正

正答率	57.7%

第８問

以下は、あるプロジェクトにおけるＰＥＲＴ図であり、各作業の作業所要時間の予定が記載されている。この図のプロジェクトに関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

ア　作業Ｃの終了時刻が２時間早くなった場合、プロジェクトの完了時刻が２時間早くなる。

イ　作業Ｅの開始時刻が２時間早くなった場合、プロジェクトの完了時刻が２時間早くなる。

ウ　作業Ｆの作業所要時間が１時間短くなった場合、プロジェクトの完了時刻は変わらない。

エ　作業Ｆの作業所要時間が２時間短くなった場合、クリティカルパスは変わらない。

オ　作業Ｈの作業所要時間が２時間長くなった場合、クリティカルパスは変わらない。

正答率	57.3%

第 18 問

生産ラインでの改善活動に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　工程間での物の運搬回数を抑制するために、「運搬ロットサイズ」を削減した。
イ　工程が統計的管理状態にあるかどうかを評価するために、「解析用管理図」を作成した。
ウ　生産ラインでのボトルネック作業を特定するために、「ECRS の原則」を適用した。
エ　生産ライン内での物の移動距離を短縮するために、生産ラインを「U字化」した。
オ　設備の誤操作による労働災害を防ぐために、「フェイルセーフ」の仕組みを取り入れた。

正答率	29.0%

第 35 問

物流センターの運営に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　ＡＳＮを用いた入荷検品は、荷受側が事前に受信した入荷予定商品の情報と入荷した商品を照合することで完了する。

イ　トラック予約受付システムは、荷送側の物流センターで配車業務の効率化のために導入されるシステムである。

ウ　マテハン機器のうち、ＤＰＳ（Digital Picking System）は種まき方式ピッキングで利用され、ＤＡＳ（Digital Assorting System）は摘み取り方式ピッキングで利用される機器である。

エ　ロールボックスパレットを利用した運搬には、フォークリフトが必要である。

オ　ロケーション管理の方法の１つであるフリーロケーション管理は、入庫の都度、空いている場所に商品を格納し、保管する商品とその場所を紐づけずに管理する方法である。

正答率	44.0%

運営管理攻略に向けた学習法

令和５年度試験の結果も踏まえて、次年度以降の運営管理科目の攻略のポイントを提示していきたい。

◆テキストを読み進めることを目的にしないでほしい

運営管理に限ったことではないが、1次試験は基本知識を正しく理解・整理・定着できているかがポイントとなる。陥りやすいものとして、その日の学習の目的が「テキストを○ページ読み進める」となってしまうことである。

重要なのはテキストを読み進めることではなく、内容を正しく理解し暗記することであり、自分にとって暗記を進めやすい学習法を確立してほしい。

◆問題演習に注力して、知識を使える状態にしてほしい

１次試験においてよくあることであるが、「なんとなく知っているけど、思い出せない」ということが致命的となることが多い。なぜならば、基本知識で対応できる問題は、いわゆるＡランク、Ｂランク問題が多く、これらの問題を確実に正答することが試験合格においては不可欠なためである。

よって、過去問演習や答練を中心に、問題への対応力を高めてほしい。特に、過去問については同じような問題が繰り返し問われることも多く、問われた論点については欠かさずに整理してほしい。

中小企業診断士試験
出る順診断士令和5年1次本試験解説
運営管理

(NL24012)

著作権者 株式会社東京リーガルマインド
©2023 TOKYO LEGAL MIND K.K., Printed in Japan
無断複製・無断転載等を禁じます。